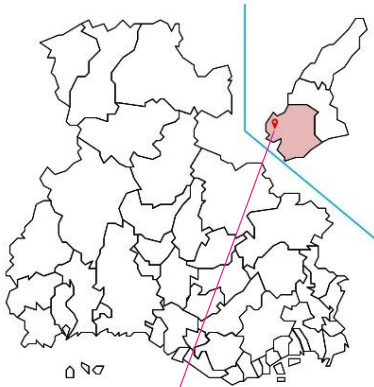


ジビエ

学生・若者の活躍

農泊

地産地消



南あわじ市



伊加利地区と吉備大生が共同でジビエ料理販売



休耕田を活用して犬同伴のキャンプ場



住民と吉備大生、市役所職員との取組検討会

概要

- ・地名（伊加利＝猪狩）の由来にもなるように、猪の多さが農作物被害や交通事故をもたらしているなか、令和元年9月に「伊加利源泉マルシェ実行委員会」を設立。
- ・猪を資源に活用、商品化して地域の特産品に。
- ・老人福祉センター湯の川荘（温泉施設）と犬連れキャンプ場の融合で観光資源を強化し、地域の魅力を高める取組を展開。

成果

- ・ジビエでは吉備国際大学と連携し、学生たちとジビエ料理の開発に取り組む。地域限定の試食会で地域住民から意見をもらい理解を促進するなど地域との連携を重視。
- ・「湯の川荘」近くの休耕田を活用した犬連れ限定のキャンプ場は、リピート率が非常に高いのが特徴。
- ・温泉米や地元野菜の販売（地産地消）は、地元商店を含め本格営業。
- ・「湯の川荘」の利用者数は、コロナ禍後、V字回復している。